

環境活動レポート

2010年度版

(2010年4月1日～2011年 3月31日)

倉敷商工会議所

発行日 2011年6月

目 次

組織の概要	2
基本理念	3
環境方針	3
環境目標	4
環境活動の取組結果	5
環境活動の内容	
（１）会員事業所への循環型企業経営の普及啓発	6
（２）地域の環境保全活動との協働	6
（３）職員への環境教育	7
（４）二酸化炭素（CO ₂ ）排出量の削減	7
電気	7
ガス（LNG）	8
ガソリン	8
（５）廃棄物の削減、リサイクルの促進	9
（６）水道	9
（７）コピー用紙	9
（８）グリーン購入の促進	9
（９）その他	10
環境関連法規等の違反、訴訟等の有無	10
環境活動レポートの公表	10
代表者による全体評価と見直しの結果	11

レポートの対象期間

環境活動レポート2010年度版の対象期間は、2010年4月1日～2011年3月31日です。

組織の概要

1. 事業所名及び代表者名

倉敷商工会議所

専務理事 加藤 清次

2. 所在地

岡山県倉敷市白楽町249番地の5

3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者

事務局長 平松 博

EA21管理事務局・環境関連の苦情受付

岩崎 伸次・平井 秀美・荒木 将一

連絡先 TEL:(086)424-2111(代)

連絡先 FAX:(086)426-6911

4. 事業の概要

地域内商工業者の利益を図るとともに、地域経済社会の振興・発展や、その地域における商工業の総合的改善を図り、兼ねて社会一般の福祉の増進に資することを目的として事業を行っている。

5. 事業の規模(2011年 3月31日現在)

会 員 数	3,625	事業所
従 業 員 数	3,723	人(役員含)
延べ床面積	3,461	m ²
駐 車 場	3,734.5	m ²

基本理念

倉敷商工会議所は地域総合経済団体として、その事業活動の全ての領域において環境への取り組みの重要性を認識し、全組織を挙げて環境負荷の軽減に努め、環境保全と経済の発展が共生できる社会を実現します。

環境方針

倉敷商工会議所は日常の事業活動と運営に係わる環境影響を常に意識し、自主的、積極的な環境問題への取組と環境負荷の削減を図るために、次の方針に基づいた経営活動を推進して環境との調和を目指します。

- 1．次の項目を環境管理テーマとして取り組みます。
 - (1) 会員事業所への循環型企業経営の普及啓発
 - (2) 地域の環境保全活動との協働
 - (3) 職員への環境教育
 - (4) 二酸化炭素排出量の削減
 - (5) 廃棄物の削減、リサイクルの促進
 - (6) 水使用量の削減
 - (7) グリーン購入の促進
- 2．環境関連法規、環境要求事項を遵守します。
- 3．職員全体が環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、環境方針を全職員に周知すると共に、環境活動レポートを作成し、所外へ公表します。

上記環境方針達成のための目標を設定し、定期的に環境経営システムの継続的な改善に取り組み、環境にやさしい経営の模範となります。

平成23年2月1日

倉敷商工会議所

専務理事 加藤 清次

環境目標

項目	2009年度	2010年度	2011年度
	実績値	実績値	目標
EA21認証・登録事業所新規取得	4件()	10件()	5件
地域環境活動への協働 (小さな親切運動等)	参加	参加	参加

項目	2009年度	2010年度	2011年度	
	実績値	実績値	目標	
CO ₂ 排出量	84,471	90,575	1%削減	
購入電力(kwh)	206,126	222,064	1%削減	
化石燃料	液化天然ガス(kg)	480	531	現状維持
	ガソリン()	2,267	2,242	2%削減
水道使用量(m ³)	1,316	1,439	現状維持	
廃棄物排出量(kg)	4,647	4,933	2%削減	
コピー用紙購入数(枚)	220,000	267,500	1%削減	

4月～翌年3月までを事業年度とし、目標値については前年度実績値を基準値として設定する。
() 他地域事務局からの移管(5件)を含む。

二酸化炭素排出量削減は、過去3年間の温室効果排出ガスのうち90%以上が購入電力によるものであるため、今年度も購入電力削減を中心とした取り組みに加えて、エコドライブに直接関係する車両のガソリンの使用状況及び平均燃費について計測を実施した。

温室効果排出ガス割合

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
購入電力	92.3%	92.2%	91.9%	92.2%	92.7%
L N G	2.0%	2.0%	1.9%	1.5%	1.6%
ガソリン	5.7%	5.9%	6.3%	6.2%	5.7%

10年度は10年4月～11年3月までの12ヶ月分の実績値

環境活動の取組結果

項 目	2010年度			2009年度
	目標値	実績値	実績/目標(%)	実績値 (1)
EA21認証・登録事業所新規獲得	10件	10件(2)	100.0%	4件(2)
地域環境活動への協働	参加	参加	-	参加

項 目	2010年度			2009年度	
	目標値	実績値	実績/目標(%)	実績値 (1)	
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	83,626	90,575	108.3%	84,471	
購入電力(kwh)	204,064	222,064	108.8%	206,126	
化石燃料	液化天然ガス(kg)	480	531	110.6%	480
	ガソリン()	2,199	2,242	102.0%	2,267
水道使用量(m ³)	1,316	1,439	109.3%	1,316	
廃棄物排出量(kg)	4,508	4,933	109.4%	4,647	
コピー用紙購入数(枚)	217,800	267,500	122.8%	220,000	

(1) 09年4月～10年3月まで12ヶ月分の実績値

(2) 他地域事務局からの移管(5件)を含む。

環境活動の内容

(1) 会員事業所への循環型企業経営の普及啓発

当所機関誌に環境負荷軽減に関する記事（省エネ職人たちのつづやき等^{ツイッター}）を掲載した。

館内に環境コーナー（パンフレットスタンド）を設け、環境関連の資料やセミナーの案内などを配布した。また、ポスターを館内に掲示し循環型企業経営の普及啓発を行った。

毎月第2・4火曜日に定時環境経営相談を実施した（2010年4月～2011年3月の12ヶ月の相談件数4件）

各種会議でEA21の案内やペーパーレス化の推進を行った。

認証登録証を館内に表示しEA21の価値を高めるとともに環境への取組みをPRした。



認証登録証表示



パンフレットスタンド

環境経営セミナー「社会・経済と環境の交わり - Green is Black, Green to Gold - 」を開催した。



日時	講師	参加者
平成23年3月15日(火)	アルファパートナー 代表 内藤 はま子 氏	34名

* 今年度は来客、入館者に加え、地元企業にも環境への取組みがPR出来たと考えられる。

(2) 地域の環境保全活動との協働

小さな親切運動「高梁川流域クリーン作戦」や青年部による清掃活動を実施した。
また、毎週土曜日には職員による商工会館周辺の清掃活動を行った。

地元小学校を対象に「環境・ゴミ・省エネルギー問題」をテーマに絵画コンクールを開催し、490点の応募があった。応募作品については地元商業施設で展示し、当所機関誌にも掲載した。

くらしきTMO(まちづくり組織)が主催し毎月開催している、くらしき朝市「三斎市」ではオリジナルエコバッグの販売や「花の種、苗、球根」の無料配布など環境に配慮した朝市を推進している。

花の苗無料配布



館内清掃と花の植替え



(3) 職員への環境教育

環境関連セミナー、イベントに参加した。

全職員が実践できるよう部署ごとに週替わりでゴミの分別や排出量の集計、照明、エアコン設定温度のチェック等を行い、環境負荷軽減に対する意識向上を図った。

* 全体的には一定の意識の向上はみられるが、取組みには個人差、温度差がある。

(4) 二酸化炭素排出量の削減

電気

- ・ クールビズ(冷房28)ウォームビズ(暖房20)の設定温度をスイッチへ表示し、取り組んだ。
- ・ 照明のスイッチへこまめな消灯を心がけるよう表示し、取り組んだ。
- ・ 長時間使用しないOA機器は電源を落とすかスタンバイモードにするよう取り組み、パソコンは随時省エネパソコンに買い換えている。
- ・ 白熱電球は電球型蛍光灯へ随時移行している。
- ・ 照明のスイッチへ照明の位置を表示した。
- ・ 長時間使用していない電気機器のコンセントプラグを抜くことにより待機電力の抑制に取り組んだ。

* 蛍光灯は頻繁な入切で寿命自体は短くなった。



スイッチ位置表示

ガス (LNG)

- ・ 湯沸かし器、コンロの使用後は元栓を閉めるよう表示し、取り組んだ。
- * 特別な要因はないと考えられるが、本年度は使用量が増加した。

ガソリン

- ・ エコドライブ10ヶ条の内容を車内へ表示し、エコドライブに取り組んだ。
- ・ 近隣への外出は自転車の利用を心がけた。
- ・ 同じ方面への外出は相乗りをするなど、効率的な車両利用を心がけた。
- ・ 毎週土曜日に自転車4台の清掃整備を行い、利用の促進策とした。
- ・ 走行距離、給油の計測で車両の使用状況、燃費のチェックに取り組んだ。

エコドライブ10カ条車載



自転車の清掃整備



全車の12ヶ月平均燃費は11.12 (km/) となった。

- * イベント関係、業務内容により車両の使用頻度は流動的で一概に比較できないが、本年度は3年に1度の業務によりガソリン使用量が増加したと考えられる。

(5) 廃棄物の削減、リサイクルの促進

- ・ パソコンからコピー機への印刷前にはパソコンの画面で校正し、印刷枚数の確認を行うなど無駄なコピー・印刷をしないよう心がけた。
 - ・ 職員個々への資料配布を減らし、回覧を行うよう心がけた。
 - ・ 物品の購入や資料の取り寄せの際には必要性・必要数を考え購入するよう心がけた。
 - ・ ペットボトルキャップ回収ボックスを設置し、分別、回収を行うよう心がけた。
また、回収したキャップはリサイクルメーカーへ売却し、その売却益をワクチン寄贈団体へ寄付することで途上国にワクチンを届けることを目的とし、リサイクルの促進策とした。
- * 本年度は毎年行っている事務所・倉庫の整理に加え、本年度は3年に1度の業務により廃棄物排出量が増加したと考えられる。

(6) 水道

- ・ 蛇口をこまめに閉めるよう心がけた。
- * 特別な要因はないと考えられるが、本年度は使用量が増加した。

(7) コピー用紙

- ・ 廃棄物削減と同様に、以下の通り取り組んだ。
 - 無駄なコピー・印刷をしない
 - 両面印刷の実施
 - 裏紙の活用
 - ペーパーレス会議の取り組み
- * 概ね遵守されていたが、本年度は3年に1度の業務によりコピー用紙購入数が増加したと考えられる。 は本格的に取り組むには課題が多いが、館内無線 LAN の導入により今後は一定の効果が得られるのではないかと考えられる。

(8) グリーン購入促進

- ・ 同等の物品でエコ商品があれば優先的にエコ商品を購入するよう心がけた。
(平成22年度は金額の上限として10%高までとする。)

(9) その他

ノーマイカーデーの実施

- ・ 5月、10月の最終金曜日にマイカー通勤の職員(19名)を対象に実施した。
また、当所機関誌でも実績を報告した。

開催日	取組率	ガソリン削減量	二酸化炭素
5月28日	100%	35.2	81.6kg-CO ₂ (個別に10.15モードで計測)
10月29日	63.2%	25.3	58.8kg-CO ₂ (個別に10.15モードで計測)

- * 当所の取り組みとしては年2回だが、各自で自転車通勤を実施している職員もいる。

ノー残業デーの実施

- ・ 電力の削減、休養による健康管理、事務効率の向上を図る為に毎週水曜日をノー残業デーと定め取り組んだ。

環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

- ・ 当所に適応される環境関連法規等は遵守されており、違反、訴訟等はなかった。
- ・ 近隣からの苦情はなかった。

* なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

環境活動レポートの公表

環境活動レポートは外部からの要求に応じて閲覧できるよう事務所に備えると共にホームページへ掲載する。

代表者による全体評価と見直しの結果

EA 2 1 の認証・登録をしてから環境問題に対し、各職員の関心事を持つようになってきたと感じています。

また、EA 2 1 の担当職員を輪番制にすることにより、各職員が日常の業務及び家庭においても環境への影響を常に意識して取り組んでいることが良い結果を生んでいると思います。

一方、商工会議所業務の性格上、事業活動及びサービスにより生ずる環境負荷の低減にも限界があるのではと感じる部分もあります。今後の取組みとしては、当所が発行する機関誌や、会議、講習会等で環境経営のメリット、支援施策情報等の提供、環境問題に関する講習会等の開催、会員事業所の EA 2 1 の認証・登録の推進などについてさらに努力していきたいと考えます。

さらには、職員の eco 検定の取得など環境教育の実施にも力を入れ、商工会議所が会員事業所の模範となるべく努力しなければならないと考えております。

以 上